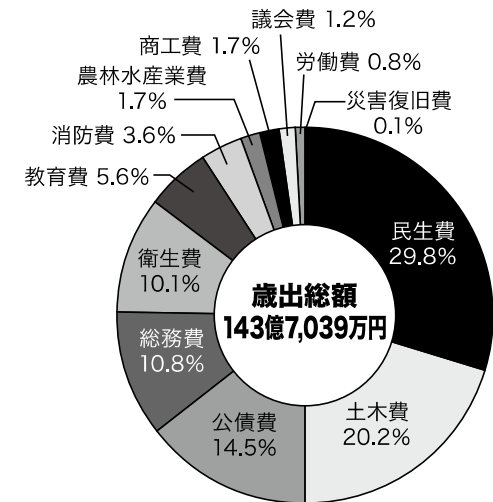


※（ ）内は前年度決算額

内 訳	決算額
民生費 生活保護や児童・高齢者などの経費	42億7,769万円 (41億8,461万円)
土木費 道路、河川、港湾、市営住宅、公園などの経費	28億9,665万円 (20億1,781万円)
公債費 過去の借入金の返済金	20億8,481万円 (25億3,504万円)
総務費 市の全般的な管理事務経費、支所、選挙などの経費	15億5,418万円 (21億9,872万円)
衛生費 衛生的な生活環境を守るための経費	14億5,729万円 (9億6,880万円)
教育費 小・中学校の運営や社会教育などの経費	7億9,627万円 (20億4,091万円)
消防費 消防・救急業務や災害対策の経費	5億1,455万円 (4億5,778万円)
農林水産業費 農林業や水産業の振興などの経費	2億4,626万円 (2億437万円)
商工費 商工業の振興や観光宣伝などの経費	2億4,273万円 (1億8,509万円)
議会費 議会の活動にかかる経費	1億7,518万円 (1億8,276万円)
労働費 労働者の生活安定や福利増進事業などを行うための経費	1億2,008万円 (1億2,010万円)
災害復旧費 災害復旧にかかる経費	470万円 (2,151万円)
総 額	143億7,039万円 (151億1,750万円)

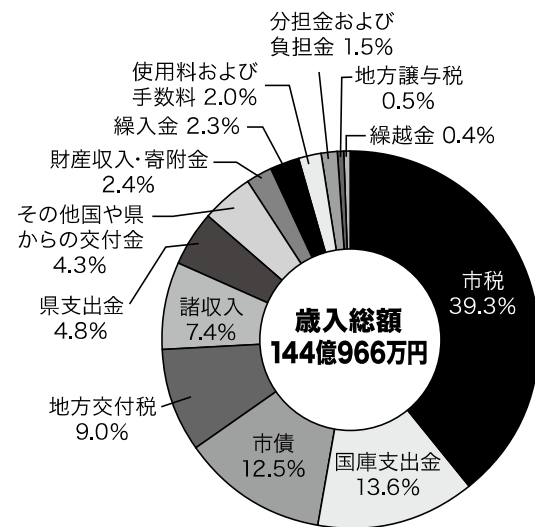


形式収支(歳入決算額-歳出決算額)…ア	3,927万円
平成30年度へ繰り越した財源……イ	1,851万円
実質収支(ア-イ)	2,076万円

一般会計 決算額

歳出 143.7億円

歳入 144.1億円



※（ ）内は前年度決算額

内 訳	決算額
市税 市民税や固定資産税など	56億6,294万円 (54億5,815万円)
国庫支出金 特定の目的のために国から交付されたお金	19億5,709万円 (24億1,692万円)
市債 大きな事業を行うために国や金融機関から借り入れたお金	18億371万円 (21億162万円)
地方交付税 市の財政力などに応じて国から交付されたお金	13億118万円 (14億5,406万円)
諸収入 他の収入科目に含まれない収入(貸付金元金収入など)	10億7,042万円 (7億5,439万円)
県支出金 特定の目的のために県から交付されたお金	6億8,370万円 (10億1,829万円)
その他国や県からの交付金 消費税のうち一定割合で交付された地方消費税交付金など	6億1,657万円 (5億7,888万円)
財産収入・寄附金 土地売却収入、寄附金など	3億3,851万円 (1億8,061万円)
繰入金 基金繰入金など	3億3,714万円 (5億7,175万円)
使用料および手数料 市営住宅使用料、ごみ・し尿処理手数料、各施設の使用料など	2億8,629万円 (2億9,450万円)
分担金および負担金 保育料、養護老人ホーム入所者負担金など	2億1,599万円 (2億1,800万円)
地方譲与税 国が徴収した税の一部を一定割合で譲与されたお金	7,314万円 (7,320万円)
繰越金 前年度から持ち越したお金	6,298万円 (1億2,011万円)
総 額	144億966万円 (152億4,048万円)

平成29年度

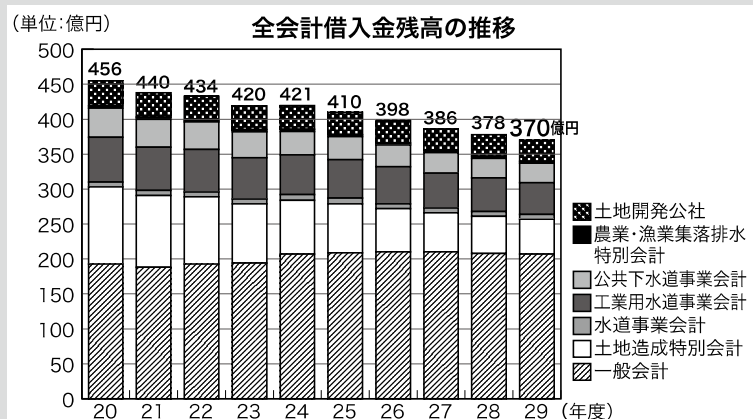
決算公表

問い合わせ 企画財政課 ☎2121

決算は、私たちが納めた税金や国・県からの補助金などのお金の使い方をまとめたものです。
市議会に提案した各会計の決算額は、表のとおりです。
平成29年度に一般会計に入ってきたお金(歳入)と、使ったお金(歳出)との差し引きは、3,927万円です。このうち、翌年度に繰り越した事業に必要な財源1,851万円を差し引いた2,076万円が平成29年度に残ったお金です。歳入が歳出より多い年度は、残ったお金の半分以上を財政調整基金に積み立てることになっています。平成29年度は2,076万円の黒字のうち、1,400万円を積み立てました。

【用語解説】
○ 財政調整基金：年度間の財源の不均衡を調整するための貯蓄。財源が不足した年度は取り崩し、黒字決算の場合は、剰余金の半分以上を積み立てます。

健全化判断比率による現状
自治体の財政状況を判断する「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」の4つの指標は、全て「健全」でした。
()内は昨年度の数値です。



※ 土地開発公社の岩国大竹道路関連特別会計は除きます。

借入金残高が減少しました
市営住宅御園団地整備事業などの大きな事業を行うための財源として、市債(借入金)を発行します。借入金残高は、一般会計で1億円、土地造成特別会計で3億円減少するなど全会計で減少し、借入金残高は378億円から370億円に減少しています。

平成29年度会計別決算額

	歳入	歳出	差引	
一般会計(福祉や教育、道路整備など市の運営の中心となる会計)	144億966万円	143億7,039万円	3,927万円	
特別会計 (特定の事業について、特定の歳入で行う会計)	国民健康保険	39億6,552万円	39億6,402万円	150万円
	漁業集落排水	3,162万円	3,162万円	0円
	農業集落排水	4,174万円	4,174万円	0円
	港湾施設管理受託	8,249万円	5,808万円	2,441万円
	土地造成	3億2,561万円	9億3,707万円	△6億1,146万円
	介護保険	25億2,945万円	24億4,609万円	8,336万円
	後期高齢者医療	4億5,106万円	4億4,989万円	117万円

「実質赤字比率」 赤字はありません。
早期健全化基準 13・89%
財政再生基準 20%
単年度の収支における、普通会計の歳出超過の割合を示します。

「連結実質赤字比率」 赤字はありません。
早期健全化基準 18・89%
財政再生基準 30%
単年度の収支における普通会計と公営事業会計を含めた会計全体の歳出超過の割合を示します。

「実質公債費比率」 16・7% (15・8%)
早期健全化基準 25%
財政再生基準 35%
標準的な税収などに対する借入金の返済などの割合を3年度の平均値で示します。

「将来負担比率」 167・8% (190・5%)
早期健全化基準 350%
財政再生基準 設定なし
標準的な税収などに対する、普通会計と公営事業会計に第3セクターなどの純負債を加えた負債がどの程度あるかを示します。
前年度と比べると、地方債残高の減少などにより改善しました。

平成29年度に取り組んだ主な事業

4 安心できるまちづくり



事業名	事業概要	事業費
放課後児童クラブ事業	保護者が安心して働けるよう、保護者が仕事などで昼間家庭にいない児童に学校授業終了後に遊びや生活の場を提供しています。28年度に高学年の待機児童が出た「みどり児童クラブ」では、学校の教室を使用し「高学年を含めた受け入れ体制」を整えました。	3,324万円
病児保育運営委託事業	保護者の勤務などの都合で、家庭で保育できない生後6カ月から小学6年生までの児童が病中、病後で、保育所や幼稚園、小学校に通えない場合の保育を実施しました。広島広域都市圏内での「病児・病後児保育事業の相互利用に関する協定」により、29年度から市域を越えての利用が可能になりました。	1,101万円

5 心にゆとりを感じるまちづくり



事業名	事業概要	事業費
図書館改修事業	図書館利用者の環境整備のため、エレベータを更新しました。	2,095万円
総合市民会館改修事業	総合市民会館利用者の環境整備のため、空調設備と身体障害者用トイレを改修し、正面玄関前のタイルの滑り止め対策を行いました。	1,325万円

6 行政・社会の仕組みづくり



事業名	事業概要	事業費
ふるさと納税促進事業	寄付(ふるさと納税)の促進や市のPRを目的に、一定額以上の寄付をいただいた方に市の特産品を返礼品として贈呈しました。専用ページへの掲載、受付から商品発送までの事務などを4つのサイト運営会社をお願いしています。	9,175万円
コミュニティづくり推進事業	地域の連帯を深め、住みよい地域社会の形成に取り組むコミュニティづくり推進協議会やこいフェスティバルに補助しました。宝くじの社会貢献広報事業を活用し、コミュニティ推進団体の備品整備に補助しました。	541万円

内部経費の削減に努めながら、第五次総合計画実施計画に掲げる重点施策を中心に事業に取り組みました。

1 大竹を愛する人づくり



事業名	事業概要	事業費
奨学金貸付事業	有用な人材育成をめざし、経済的理由で高校や大学などへの就学が困難な優秀な生徒・学生に、学資を貸し付けています。24年度から定住促進の一環として、市内に一定期間居住することを要件に返還免除制度を設けています。	761万円
英語学力向上事業	義務教育終了時における英語の基礎的な学習内容の定着や英語学習の意欲向上のため、市内中学校の3年生に3級以上の英語検定の受験費用を助成しました。	30万円

2 生活基盤が整ったまちづくり



事業名	事業概要	事業費
市営住宅御園団地整備事業	御園2・3号アパートおよび御園団地の木造・簡易耐火平屋を統合し、御園6号アパートを建設しました。	6億9,461万円
晴海臨海公園整備事業(ファミリーゾーン遊具整備)	子どもから高齢者まで多様な人たちの憩いの場となる、ファミリーゾーンの敷地造成工事を行い、大型複合遊具ロボボファクトリーや乳幼児向け遊具、大人向け健康遊具などを設置しました。	1億1,492万円

3 安全なまちづくり



事業名	事業概要	事業費
阿多田防災コミュニティグラウンド整備事業	旧阿多田小学校グラウンドを広場として整備し、トイレ・防災倉庫・東屋を建築しました。地震や津波災害などでは一時避難場所として、また平時には運動やレクリエーションに使用します。	3,517万円
消防団資機材整備事業	消防団第9分団(玖波地区)の積載車1台と第11分団第2部(谷尻、広原)の手引小型動力ポンプ2台を更新しました。	1,050万円

平成30年度上半期の財政状況(繰越分を含みます)

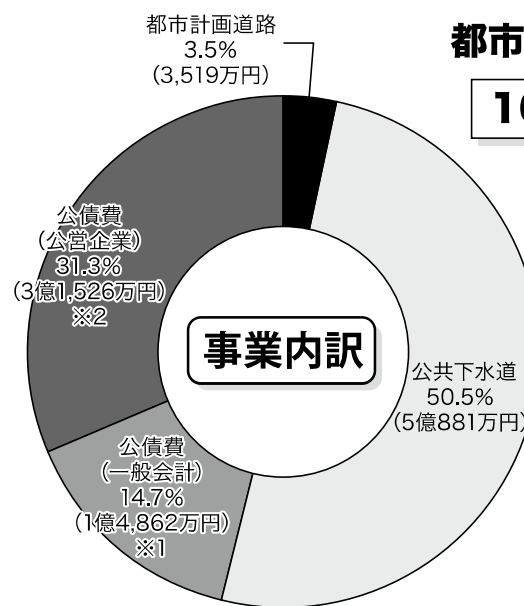
平成30年度上半期(4月～9月)の、一般会計・特別会計の予算執行状況(9月30日現在)は、表のとおりです。

		予算現額	
		歳入状況	歳出執行状況
一般会計		155億4,692万円	
		35.8%	27.6%
特別会計	国民健康保険	32億4,318万円	
		37.0%	42.3%
	漁業集落排水	3,424万円	
		3.4%	17.8%
	農業集落排水	4,721万円	
		4.1%	23.8%
	港湾施設管理受託	5,821万円	
		79.8%	37.7%
	土地造成	10億825万円	
		3.1%	60.7%
	介護保険	26億3,692万円	
		38.8%	39.7%
	後期高齢者医療	4億6,051万円	
		32.0%	41.2%

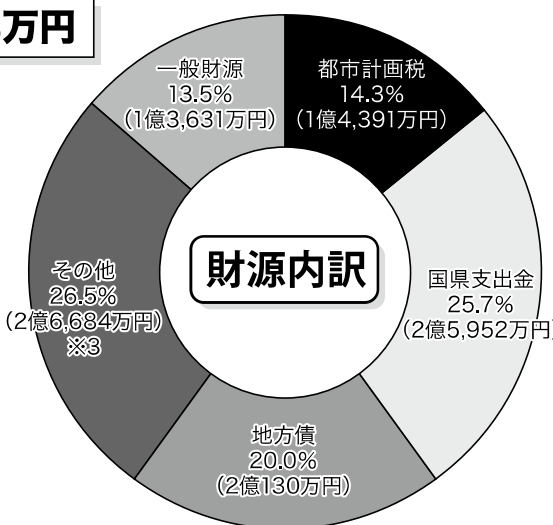
都市計画税のつかいみち

都市計画税は、都市計画事業を行うための目的税です。平成29年度の都市計画事業費10億788万円のうち、1億4,391万円を都市計画税でまかないました。

都市計画事業の内訳



10億788万円



※1 公債費(一般会計)とは、過去に一般会計において実施してきた都市計画事業(都市計画道路事業)のために発行した地方債の元利償還金です。
 ※2 公債費(公営企業)とは、過去に公営事業会計において実施してきた都市計画事業(公共下水道事業)のために発行した地方債(企業債)の元利償還金です。

※3 その他には、下水道使用料などが含まれます。

決算書を販売しています
 平成29年度の決算書(A4版282ページ)を1,000円で販売しています。
 また、市立図書館や情報公開コーナー(市役所2階)の市のホームページでもご覧いただけます。

